



一生懸命「火の用心」を呼びかける園児たち（高松保育園）

3 4金 とじまりようじん ひのようじん

春の全国火災予防運動の一環として幼年消防クラブ防火パレードが行われました。3月1日（火）には赤羽根保育園、4日（金）には高松保育園、7日（月）には第一保育園がパレードを実施。法被を着て、まといや拍子木、うちわを持った園児たちが「火の用心のうた」に合わせ、地元市民に火災予防を呼びかけました。また、パレード終了後に消防車両の試乗や防火衣の試着など消防体験を催した園もあり、子どもたちは大喜びでした。



しいたけの原木は山に戻され田原区が愛情込めて管理します

2 20回 ふれあいたいね 自然の叡智

愛知万博の開催を記念して地域のもりづくり活動が行われました。この行事は、愛知万博のテーマ「自然の叡智」の理念を引き継ぐ「記念の森」に、衣笠校区の「稲荷山学習の森」が選ばれたことにちなんだもの。参加した約70名の親子らは、講師を務めた林業関係者や自然愛好家の指導のもと、しいたけやなめこ、ひらたけの菌打ちを原木づくりから体験。自然の素晴らしさと尊さを肌で学ぶことができました。



映画制作の苦勞から「あきらめたときが無になる」と語る

2 17木 よりよく 前向きに生きるために

田原福祉専門学校で、映画『折り梅』の映画監督・松井久子氏を招いた公開講座「命ある限り、輝いて生きるために」が開かれました。松井氏は「認知症（痴呆）は、知性の鎧がはがされ心細く不安な状態で、本人が一番心を痛めている。周りの人に責められると、プライドが傷つき、怒ったり粗暴になったりする。あるがままを受け止めてもらえなければ人は皆生きていけない」と語り、約120名の聴衆の胸を打つ講演となりました。



「火の用心」と書いたゼッケンを胸に付けて走りました

3 1火 市民の安心のため 今日も一生懸命

春の全国火災予防運動に合わせ、消防職員が市民に火災予防を呼びかける防火マラソンを行いました。参加したのは20～40代の職員22名。消防本部を発着点に、中心市街地・めっくんはうす・渥美農業高校などを経由する11.9kmのコースを、きれいな隊列を組み、防火を呼びかけながら参加職員全員で走りきりました。勇ましく走る消防職員の姿を、沿道の市民は頼もしげに見つめていました。